

令和6年度 第1回 白脇小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月14日（金） 13時15分から15時00分まで
- 2 開催場所 白脇小学校 会議室
- 3 出席委員 田口 博、鶴屋 義照、柳川 樹一郎、清水 哲夫、外波山 裕康、
望月 真菜、大石 絵理
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 神 宏之（校長）、大石 みや（教頭）、安川 剛史（教頭）、
河口 裕之（主幹）、植田 敬子（CSディレクター・CSコーディネーター）
- 6 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 7 白脇協働センター コミュニティ担当 齋田 剛志
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 植田 敬子

10 議長の選出

司会の河口から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鶴屋副会長からの推薦により、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）白脇小学校運営基本方針について（校長説明→質疑・熟議→承認）
- （2）いじめ防止等のための基本的な方針について（校長説明→質疑・熟議→承認）
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の河口から、委員総数全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営協議会の円滑な進め方について

浜松市教育委員会清水悠指導担当より規則の確認等の説明をうけ、「地域と学校が丸となって子どもを育てていく」ことへの再確認を行う。

（2）白脇小学校運営基本方針、いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針および、いじめ防止等のための基本的な方針について説明がある。主な内容は、以下の通りである。

・ 白脇小学校ランドデザインの要点説明

「自立するすこやかな白脇の子」とは仲間と協力しながら、自分たちで考え、判断して行動できる、元気でやる気に満ちた子供を6年かけて育てていくことで、「確かな子供理解」が全ての土台となることを説明。

- ・ いじめ対策もランドデザインに則り、いじめ防止のための基本姿勢を職員に浸透させ、家庭訪問など児童理解、保護者理解のための環境づくりに労を惜しまないこと、いじめ報告の都度報告の徹底など、学校一丸となって取り組むことを説明。

- ・ 学校目線での要点説明後、保護者目線、地域目線でどういう子供に育ってほしいかの発言を求めた。

委員からは、以下の発言があった。

- ・ 目標や、やりたいことが見つけられる子供になってほしい。(望月委員)
- ・ 色々な世代の人と関わってほしい。そして、様々な人がいることを理解してほしい。(望月委員、大石委員)
- ・ 結果やゴールだけでなく、それまでの過程(失敗や人間関係)を経験してほしい。(大石委員)
- ・ 家庭はわがままを言える場所にしてほしい。(田口委員)
- ・ 学校が好き、楽しいと言える子供になってほしい。(田口委員、外波山委員)
- ・ 「知る」ことが楽しい、知的好奇心をくすぐる授業をお願いしたい。短い時間でも心に残る教育現場をつくってほしい。(鶴屋委員、清水委員)
- ・ 白脇スタンダードが子供一人一人の理解度に応じた対応ができるものであってほしい。(鶴屋委員)
- ・ 学校目標をはたして、子供も理解できているのだろうか。(鶴屋委員)
- ・ 子供の無限の可能性を親が止めないで。自分で気付く力を養ってほしい。(柳川委員)
- ・ 人と人とのつながりを大切にしてほしい。(清水委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業に対する意見書(案)について説明があり、全員で承認した。

その他連絡事項等

- ・ 11月末、しらわきまつり開催予定に伴う、学校としてふれあうことができるものがあれば出てほしい。(清水委員)
- ・ 白脇小CS取り組み報告
 - ①昨年度の学校ボランティアの実績報告(CSコーディネーター植田より)
 - ②今年度のCS活動予定及び登録ボランティアの募集の報告
- ・ 司会から、次回会議は、令和6年10月24日(木)午後13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。